

平成25年度 関西大学 国内研究員

研究支援課

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究内容の概要	備考
文	全学で3名以内	教授	澤井 茂夫	H25.4.1～ H26.3.31	1. 自宅	①イタリア・ルネサンス末期の自然哲学者トンマーゾ・カンパネッラの研究をつづ け詩集の翻訳や彼の魔術論(観)の論文を書くこと。②錬金術とユートピアの関 連から当時(16-17世紀)の時代精神をよみとくこと。③初期人文主義の精神と 明治維新の政治的動向を比較検討すること。④ルネサンス期の諸作品の翻訳・ 出版	
					2. 関西大学総合図書館		
社	全学で3名以内	教授	加納 恵子	H25.4.1～ H26.3.31	1. 大阪市立大学大学院創造都市研究科 島和博研究室	地域福祉分野においては、歴史的に先進エリアといわれる大阪で生成されてき た地域福祉理論及び実践の到達点を「複合差別/多問題と福祉支援」の視点か ら再検証することを目的に、以下の3プロジェクトに取り組む。①岡村重夫(大阪 市立大学名誉教授)の福祉理論研究②大阪府社会福祉協議会でのコミュニテ ィソーシャルワーク事業研究 1)地域福祉部「地域支援」事業 2)施設福祉部 「個別支援」事業③比較研究対象として関東エリアの事業	
外	全学で3名以内	教授	和田 葉子	H25.4.1～ H26.3.31	1. 専修大学言語文化研究センター	専修大学言語・文化研究センターで写本の調査を定期的に行い、海外研究者と 交流を深め、研究テーマについてディスカッションする。関西大学総合図書館で中 世写本のマイクロフィルム及び関係資料を、国会図書館で逐次刊行物を主に利 用する。H24.7月頃までに今回の研究に役立つ多言語で書かれた写本とそれら の特徴について概観し、10月頃までに各写本に見られる異文化接触の実態を 調査し研究結果をまとめ成果を発表する。	
					2. 関西大学総合図書館		
					3. 国立国会図書館		

※ 規程 第4条第2項による在職年数及び年齢要件(いずれも平成25年4月1日現在)に抵触するものではありません。